

令和6年度 第1回 就労支援事業所研修会 報告

令和6年6月6日（木） 15:00～17:00

福岡市立障がい者就労支援センター（福岡市舞鶴庁舎2F 大研修室）

今回のテーマ 「企業とつながる～就労支援のいろは～」

障がいのある方の就労の機会が拡大されるなか、支援者である私たちは、どのようにして企業と関わりを持ったら良いのか、企業訪問で困らないためのスキルとは何か、講義と演習を通して学びました。

就労移行支援事業所をはじめ福祉サービス援事業所の支援員など39事業所51名の方に参加いただきました。

■第一部 講義 『企業での支援に必要な視点、支援者の役割について』

福岡市立障がい者就労支援センター 黒田 小夜子

就労支援に携わる私たちには、障がいがあることにより十分に保障されていない働くことの保障として、一日も早い就労の実現という大きな役割があります。そのために必要な支援者としての視点や、企業へのアプローチとして情報収集、アポイントメント、職場訪問について、失敗例なども交えながらそのポイントについて話をしました。また、就労支援は障がいのある方だけでなく、本人と企業双方への支援であることや支援者の言動や立ち振舞いは関係者から見られていることを意識し、企業目線を持った企業から信頼される支援者でありたい、などの話題をお伝えしました。

■ 第二部 グループ演習 『企業で困らないために』

福岡市立障がい者就労支援センター 就労支援コーディネーター 篠原 玲子

【課題】

- ①求人票がでている企業に対し、電話にて訪問のアポイントを取る
- ②面接後、企業担当者から応募者のことについて相談があり、支援者のみ訪問し打ち合わせをする

この二つの課題について模擬動画を作成し、企業への説明の内容やビジネスマナーなどについて各グループで気づきや改善点を話し合いました。短い時間でしたが、いずれのグループも意見が途切れず、時に笑いも出るなど、和気あいあいの中、活発な意見交換ができました。「企業へのアポイント、企業訪問ともにビジネスマナーの徹底、応募者本人が主役という意識の重要性、さらには企業のメリットにつなげる支援の大切さを感じた」「自分だけでなく、他の方の話を聞くことで見えていなかった視点でも考えることができた」などの感想が聞かれ、対面での研修、演習を交えた研修、そして支援者同士がつながる研修の必要性を改めて感じました。

次回は、9月。企業との交流会を企画しています。
改めてご案内いたしますので是非、ご参加ください！！

